

# KÄRCHER

**HD 9/17-4 S 50 Hz, HD 9/17-4 S 60 Hz**  
**HD 10/22-4 S 50 Hz, HD 10/22-4 S 60 Hz**  
**HD 10/22-4 SXA 50Hz, HD 10/22-4 SXA 60Hz**



**Register  
your product**  
[www.kaercher.com/welcome](http://www.kaercher.com/welcome)



59793490 (10/23)

## 目次

一般的な注意事項	2
規定に沿った使用	2
環境保護	2
アクセサリとスペアパーツ	2
同梱品	2
安全注意事項	2
機器に関する説明	3
取り付け	5
電気コネクタ	6
給水部	6
操作	6
自動ホースリール	6
搬送	8
保管	8
手入れとメンテナンス	8
障害発生時のサポート	11
保証	11
技術データ	12

## 一般的な注意事項



デバイスを初めて使用する前に、このオリジナル取扱説明書および付属する安全に関する注意事項を読んでください。記載事項に従ってください。両文書を、後の使用あるいは次の所有者のために保存してください。

## 規定に沿った使用

この高圧洗浄機は、以下の作業以外には使用しないでください。

- 洗浄剤を使用しない高圧ジェットによる洗浄(例: ファサード、テラス、園芸工具など)
- 低圧ジェットによる洗浄と、付属品として利用可能なフォームランスによる洗浄剤(機械、車両、建物、工具など)

頑固な汚れには、専用付属品としてサイクロンジェットノズルをお勧めします。

HD...Plus SXAのバージョンには、サイクロンジェットノズルが同梱されています。

本機器はサーボコントロールの付属品で作動します。

## 給水限界値

### 注意 汚水

機器の早期の磨耗や不純物が堆積する可能性があります。

水道水、または指定された限界値を超えない再生水のみを使用して機器に供給してください。

次の限界値が給水に適用されます。

- pH値: 6.5-9.5
- 電気伝導率: 淡水の導電率+ 1200  $\mu$ S/cm、最大導電率2000  $\mu$ S/cm
- 沈降性粒子 (サンプル量1 l、沈降時間 30 分): < 0.5 mg/l
- ろ過可能な粒子: < 50 mg/l、研磨剤なし
- 炭化水素: < 20 mg/l
- 塩化物: < 300 mg/l
- 硫酸塩: < 240 mg/l
- カルシウム: < 200 mg/l
- 総硬度: < 28 ° dH、< 50° TH、< 500 ppm (mg CaCO<sub>3</sub>/l)
- 鉄: < 0.5 mg/l
- マンガン: < 0.05 mg/l

- 銅: < 2 mg/l
- 活性塩化物: < 0.3 mg/l
- 不快な臭いがない

## 環境保護



梱包材はリサイクル可能です。梱包材は環境に適した方法で廃棄してください。



電気および電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性があります。

■ 能力があるバッテリーや充電式バッテリーあるいはオイルなどの構成要素が含まれています。しかしながら、これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されている機器は、家庭ゴミと一緒に廃棄してはいけません。

## 物質についての注意事項 (REACH)

内容物に関する最新情報は、[www.kaercher.de/REACH](http://www.kaercher.de/REACH) を参照してください

## アクセサリとスペアパーツ

純正のアクセサリおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより装置の安全で、トラブルの無い動作の保証が約束されます。アクセサリやスペアパーツに関する詳細については、<https://www.kaercher.com/jp/professional.html> をご参照ください。

## 同梱品

開梱の際に内容物が揃っているか確認してください。付属品が欠けている場合や輸送による損傷があった場合は販売業者にご連絡ください。

## 安全注意事項

- 機器を初めてお使いになる前に、必ず安全注意事項 5.951-949.0をお読みください。
- 高圧洗浄に関する国の規制を遵守してください。
- 事故防止に関する国の規制を遵守してください。高圧洗浄は定期的に点検する必要があります。点検結果は、文書で記録する必要があります。
- 本機器や付属品に変更を加えないでください。

## 機器上のシンボル



機器を公共の飲料水ネットワークに直接接続しないでください。



高圧洗浄機の吐出先を人、動物、作動中の電気機器、または機器本体に向けしないでください。機器を凍結から保護してください。

## 安全機器



### 注意

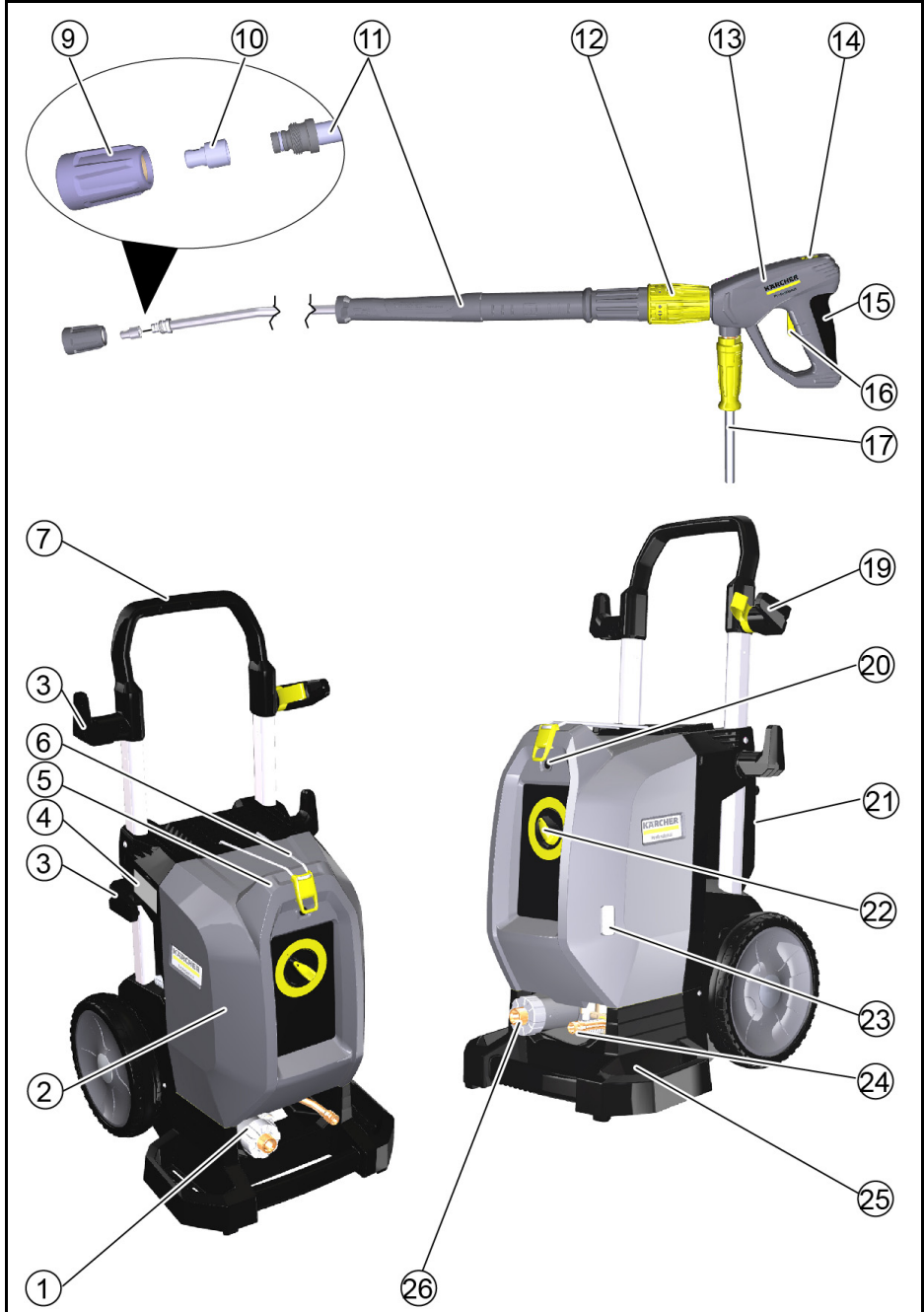
#### 安全装置の欠落または変更

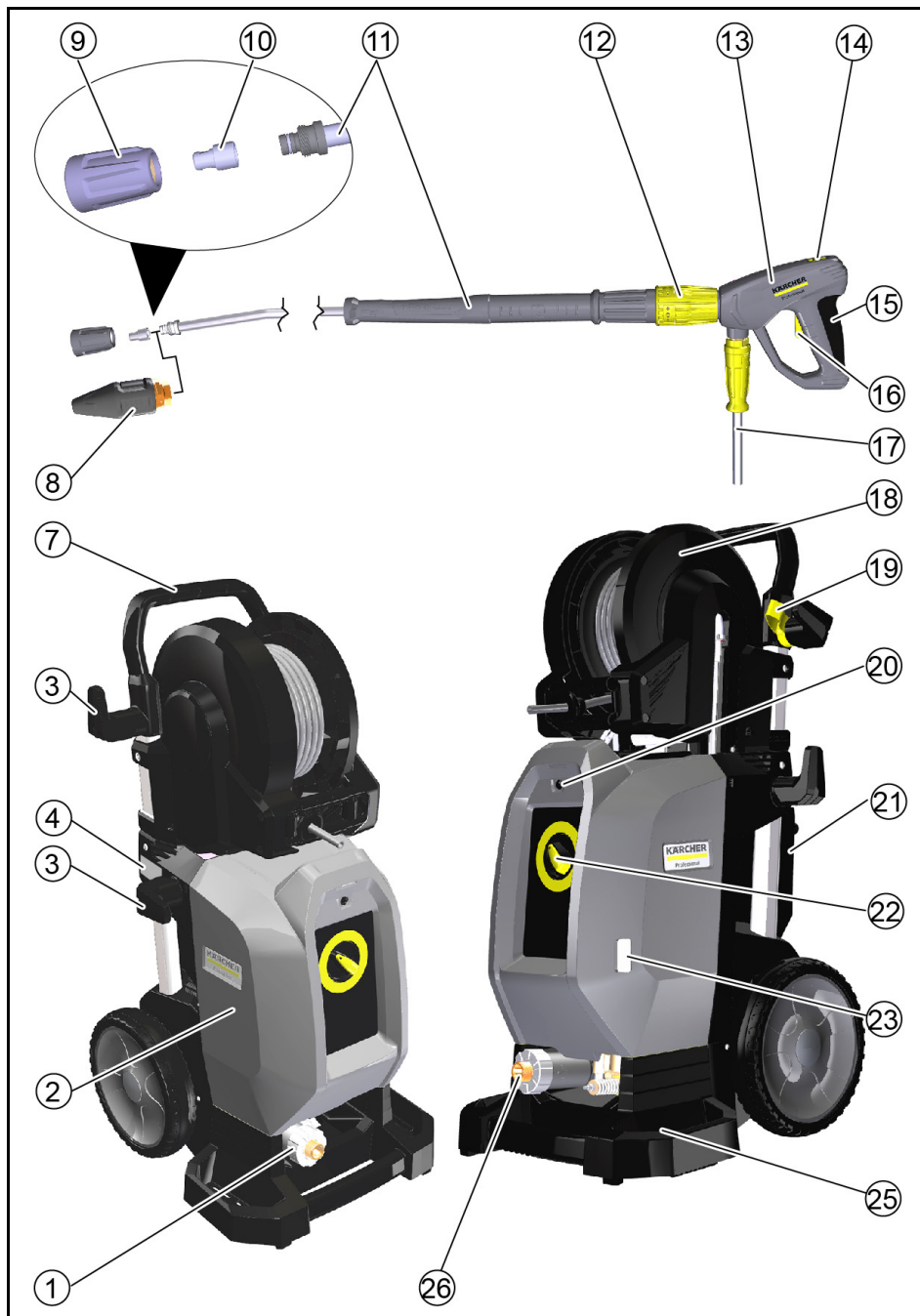
安全装置は使用者を保護するためのものです。安全装置に変更を加えたり、バイパスさせたりするのは絶対におやめください。安全機器は工場出荷時に設定され、密閉されています。設定は、カスタマーサービスによるのみ行われます。

#### 圧力スイッチ付きオーバーフローバルブ

圧力および流量制御で水量を減らすと、オーバーフローバルブが開き、水の一部がポンプの吸込側に逆流します。高圧ガンのトリガーを離すと、圧力スイッチが高圧ポンプのスイッチを切り、高圧洗浄が停止します。トリガーを引くと、再びポンプのスイッチが入ります。

図表ページを参照





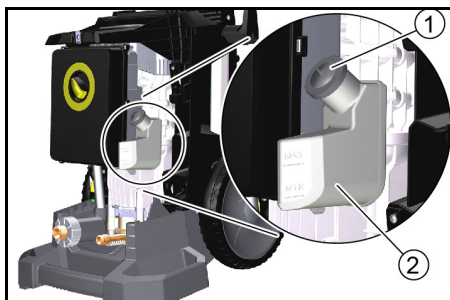
- ① ファインフィルター
- ② カバー
- ③ ケーブルホルダー
- ④ 銘板
- ⑤ ホースラック \*
- ⑥ ラバーテンショナー \*
- ⑦ プッシュハンドル
- ⑧ 低振動サイクロンジェットノズル \*\*
- ⑨ ノズルチップ固定ホルダー
- ⑩ パワーノズル
- ⑪ スプレーランス EASY!Lock
- ⑫ サーボプレスユニット(圧力調整)
- ⑬ トリガーガン EASY!Force
- ⑭ 安全ロック
- ⑮ 解除レバー
- ⑯ 安全レバー
- ⑰ 高圧ホース EASY!Lock
- ⑱ ホースリール \*\*
- ⑲ ランスホルダー
- ⑳ カバー用固定ネジ
- ㉑ 付属品収納部
- ㉒ ダイアル
- ㉓ オイルレベル表示
- ㉔ 高圧ホース接続部 EASY!Lock \*
- ㉕ ノズルホルダー
- ㉖ 給水口

\* バージョンSのみ  
 \*\* バージョンSXAのみ

## 取り付け

### オイルリザーバーの換気を作動させる

1. カバー用固定ネジを外します。
2. カバーを取り外します。
3. オイルリザーバーキャップの先端を切り落とし、小さな開口部を作ります。



- ① カバー
  - ② オイルリザーバー
4. カバーを固定します。

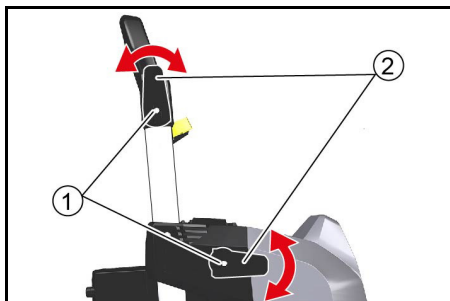
### オイルレベルを確認する

1. 機器を水平面に置きます。
2. オイルレベルは、オイルレベル表示の「MIN」マークと「MAX」マークの間にある必要があります。

### ケーブルホルダーを回転させる

必要に応じて、ケーブルホルダーをねじることができ  
ます。

1. ネジを4回転程度緩めます。



- ① ネジ
  - ② ケーブルホルダー
2. ケーブルホルダーを引き出し、目的の位置まで回転させます。
  3. ケーブルホルダーを本体側に押し込んで、回り止めにはめ込みます。
  4. ネジを締めます。

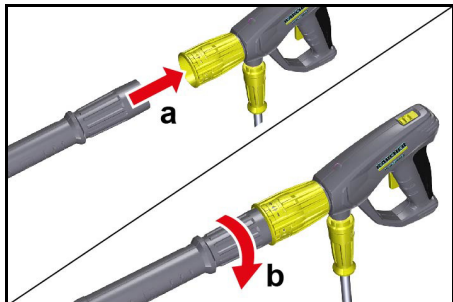
## 付属品を取り付けます

### 注意事項

EASY!Lockシステムは、わずか1回転のクイックス

レッドで、素早く確実に部品を接続します。

1. パワーノズルをスプレーランスに押し込みます。
2. ノズルチップ固定用ホルダーを取り付け、手で締めます(EASY!Lock)。
3. スプレーランスをトリガーガンに接続し、手で締めます(EASY!Lock)。



ホースリールのない機器の場合:

4. 高圧ホースをトリガーガンと機器の高圧ホース接続部に接続し、手で締めます(EASY!Lock)。

ホースリール付きの機器の場合:

5. 高圧ホースをトリガーガンに接続し、手で締めます(EASY!Lock)。

## 電気コネクタ

### △ 危険

#### 感電による怪我の危険

プラグを使用して、機器を主電源に接続します。電源への分離不可能な接続は禁止されています。プラグは主電源から切り離すときに使用します。

機器はAC電源にのみ接続してください。

十分な断面を持つ延長ケーブルを使用してください(「技術データ」参照)。

延長ケーブルをケーブルドラムから完全にほどきます。

1. 電源ケーブルをほどいて床に置きます。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

## 給水部

### 水道管への接続

### △ 警告

#### 汚染水の飲料水ネットワークへの逆流

#### 健康被害

水道事業者の規定を遵守してください。

有効な規制に従って、機器をシステムセパレーターなしで飲料水ネットワーク上で決して運転しないでください。KÄRCHERのシステムセパレーター、またはEN

12729タイプBAに準拠したシステムセパレーターを使用してください。システムセパレーターを通過した水は、非飲用水として分類されます。システムセパレーターは常に給水に接続し、機器の水接続部に直接接続しないでください。

1. 給水の入口圧力、入口温度、供給量を確認してください(章を参照)。
2. システムセパレーターと機器の給水口を、給水用ホースで接続します(給水用ホースの要件については章を参照)。
3. 給水口を開けます。

## 容器からの吸水

1. フィルター付きのサクシオンホースを給水口におじ込みます(フィルターの注文番号については章を参照してください)。
2. 機器の換気をします(章を参照 機器のエア抜きをする)。

## 機器のエア抜きをする

1. パワーノズルをスプレーランスから外します。
2. 泡がなくなり水が出てくるまで、機器を作動させます。
3. エア抜きに問題がある場合は、機器を10秒間稼働させてからスイッチを切ってください。このプロセスを数回繰り返します。
4. 本機器のスイッチをオフにします。
5. パワーノズルをスプレーランスに押し込みます。

## 操作

### △ 危険

#### 負傷の危険

高圧洗浄の水流により怪我をする可能性があります。解除レバーと安全レバーは絶対に作動位置に固定しないでください。

安全レバーが損傷している場合は、トリガーガンを使用しないでください。

安全レバーに欠陥がある場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

機器で作業を行う前に、トリガーガンの安全ロックを前方に押しってください。

スプレーランスを取り付けずに機器を使用しないでください。スプレーランスがしっかりとフィットしているか確認してください。スプレーランスは必ず手でしっかりと締める必要があります。

トリガーガンとスプレーランスを両手で持ちます。

機器、付属品、供給ライン、接続部に損傷がないことを確認します。機器は完璧な状態でのみ使用してください。

## 自動ホースリール

バージョンSXAには自動ホースリールが装備されています。

### ホースをほどく

1. ホースを引き抜きます。
2. 抜いた際には、ホースリールがロックされます。

### ホースを巻き取る

### △ 危険

#### 負傷の危険

巻き取り中に高圧ホースが外れると、制御不能な動きをしたり、物にぶつかったり弾き飛ばしたりすることがあります。

巻き取り中は高圧ホースをしっかり持ち、巻き取り工程ではホースを誘導してください。

ホースリールの中に手を入れないでください。

1. ホースを少し引き出してから、抜いてください。ホースリールはホースを自動的に巻き取ります。
2. 巻き取り注はホースを誘導して、巻き取り速度を調整してください。

### トリガーガンを開く/閉じる

1. 安全レバーと解除レバーを操作します。トリガーガンが開きます。
2. 安全レバーと解除レバーを離します。トリガーガンが閉じます。

## 高圧による運転

### 注意事項

機器には圧カスイッチが装備されています。トリガーガンが開いているときのみモーターが起動します。

1. ホースリール付きの機器の場合：高圧ホースをホースリールから完全に引き出します。
2. 機器のスイッチを「I」にセットします。
3. トリガーガンの安全ロックを後方に押して、トリガーガンのロックを解除します。
4. トリガーガンを開きます。

### ⚠ 危険

#### 負傷の危険

サーボプレス（圧力調整）から噴出する高圧洗浄の水流により、怪我をする可能性があります。

サーボプレス（圧力調整）とスプレーランスの間の接続が緩まないように注意してください。

5. サーボプレス（圧力調整）を回して、使用圧力と水量を設定します。

### 注意事項

最小流量の場合、モーターからの廃熱により、水は約15°C加熱されます。

## 洗浄剤を使用時の操作

### ⚠ 警告

#### 洗浄剤の誤った取り扱い

健康リスク

洗浄剤のパッケージに記載されている安全上の注意事項に従ってください。

### 注意

#### 不適切な洗浄

製品および洗浄対象物を損傷することがあります

洗浄剤は、必ずKÄRCHERが認可したものを使用してください。

洗浄剤に添付されている使用量に関する推奨事項と注意事項を遵守してください。

環境保全のため、洗浄剤は控えめにご使用ください。

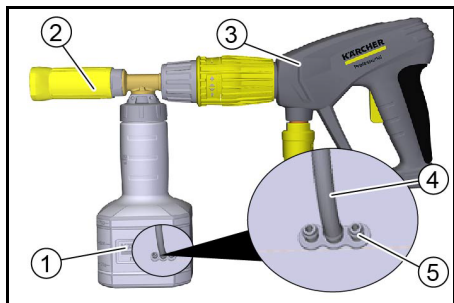
### 注意事項

Kärcherの洗浄剤は、トラブルのない作業を保証します。ご相談いただくか、カタログや洗浄剤情報シートをご請求ください。

### 注意事項

洗浄剤による運転には、フォームランス（オプション）が必要です。

1. コンテナのネジを外します。



- ① コンテナ
- ② 発泡ノズル
- ③ トリガーガン
- ④ サクションホース
- ⑤ カバーセット

洗剤混和剤：3=高、2=中、1=低

2. サクションホースに希望のカバーを挿入します。
3. 洗浄剤をコンテナに充填します。
4. コンテナを発泡ノズルにねじ込みます。
5. トリガーガンからスプレーランスを外します。
6. トリガーガンにフォームランスを装着し、手でしっかりと締めます。
7. 高圧洗浄機を起動させます。

## 推奨される洗浄方法

1. 乾燥した表面に洗浄剤を控えめにスプレーし、効果を発揮させます（乾燥していない状態にします）。
2. 分解された汚れを高圧洗浄で洗い流します。

## 洗浄剤使用後

洗浄剤の沈着を避けるために、フォームランスは使用後に必ずすすいでください。

1. コンテナのネジを外します。
2. 洗浄剤の残りを配送用パッケージに戻します。
3. コンテナをきれいな水で満たします。
4. コンテナをフォームランスにねじ込みます。
5. フォームランスを約1分間運転して、洗浄剤の残りを洗い流します。
6. コンテナを空にします。

## 作動中の割り込み

1. トリガーガンを開じます。  
機器のスイッチがオフになります。
2. 安全ロックを前方にスライドさせます。  
トリガーガンが固定されます。

## 運転を続ける

1. 安全ロックを後方にスライドさせます。  
トリガーガンのロックが解除されます。
2. トリガーガンを開きます。  
機器のスイッチがオンになります。

## 運転の終了

### ⚠ 警告

#### やけどの危険

スイッチがオフになった機器に含まれる残留水が加熱されることがあります。給水口からホースを外すと、加熱された水が飛び散ってやけどの原因になることがあります。

機器が冷めるまでは、給水用ホースを取り外さないでください。

1. 給水口を閉じます。
2. トリガーガンを開きます。
3. 機器のスイッチを「I」にセットし、機器を5～10秒間作動させます。
4. トリガーガンを開じます。
5. 機器のスイッチを「0」にセットします。
6. 乾いた手で電源プラグをコンセントから抜きます。
7. 給水口から給水用ホースを取り外します。
8. 機器が減圧されるまで、トリガーガンを開けてください。
9. 安全ロックを前方にスライドさせます。  
トリガーガンが固定されます。

## 搬送

### △ 注意

#### 重量の無視

怪我と損傷の危険

搬送と保管時には機器の重量に注意してください。

### 注意

#### 不適切な搬送

損傷の危険

トリガーガンの解除レバーを損傷から保護します。

- 機器を車両で搬送する場合は適用されるガイドラインに従って、機器の滑り止めや転倒防止のための固定を行ってください。
- 機器を長距離搬送する場合は：プッシュハンドルで機器を引いたり押ししたりします。

## クレーン搬送

### △ 危険

#### 負傷の危険

クレーンで機器を不適切に搬送すると、落下して怪我をする可能性があります。

地域の事故防止規則や安全注意事項を遵守してください。

機器の搬送は、クレーンの操作指導を受けている人だけが行うことができます。

各クレーン搬送の前に、ホイストに損傷がないかを確認してください。

各クレーン搬送の前に、機器に損傷がないかを確認してください。

この章の最後に記載されているとおりにのみ、機器を持ち上げてください。

荷役装置を機器のプッシュハンドルに取り付けしないでください。

チェーンスリングは使用しないでください。

意図せずに荷物が外れないように、昇降装置を固定してください。

クレーン搬送の前に、トリガーガンの付いたスプレーランス、ノズル、その他の緩んでいる物を取り除いてください。

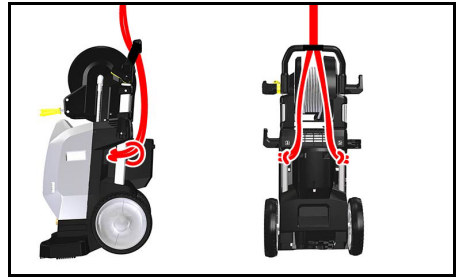
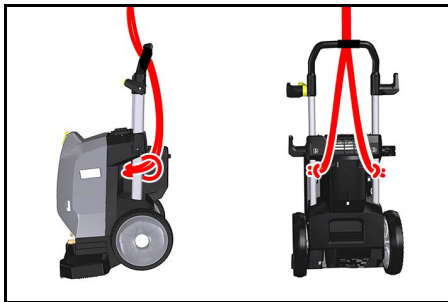
吊り上げ作業中は、機器の上に物を載せて運ばないでください。

荷物の下に立たないでください。

クレーンの危険区域に人がいないことを確認してください。

機器をクレーンに吊り下げたまま放置しないでください。

1. 昇降装置を機器に固定します。



## 保管

### △ 注意

#### 重量の無視

怪我と損傷の危険

搬送と保管時には機器の重量に注意してください。

機器は屋内でのみ保管してください。

## 機器を保管する

1. トリガーガン付きスプレーランスをノズルホルダーにセットし、ランスホルダーにはめ込みます。
2. 電源ケーブルをケーブルホルダーに巻き付け、ケーブルクリップで固定します。
3. 高圧ホースを巻き取ります。
  - a パージョンS: 高圧ホースを巻き取り、ホースラックに置き、ラバーテンショナーで固定します。
  - b パージョンSXA: 高圧ホースをホースリールに巻き取ります。

## 不凍液

### 注意

完全に水分が排出されていない機器は霜によって破壊されます。

機器は凍らない場所に保管してください。

霜のない保管ができない場合:

1. 水を排出してください。
2. 市販の不凍液をポンプで機器に送り込みます。
3. ポンプとラインが空になるまで、機器を最大1分間動作させます。

### 注意事項

市販のグリコール系の自動車用不凍液を使用してください。不凍液メーカーの取扱説明書に従ってください。

## 手入れとメンテナンス

### △ 危険

#### 意図しない機器の起動

怪我のおそれ、電気ショック

作業を開始する前には、必ず機器のスイッチをオフにして、電源プラグを抜きます。

### 注意事項

廃油は、指定された回収場所からのみ処分できます。

廃油はそちらでお渡しください。廃油による環境汚染は、処罰の対象になります。

## 安全検査 / メンテナンス契約

定期的な安全検査を手配するか、メンテナンス契約を結ぶことができます。詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。

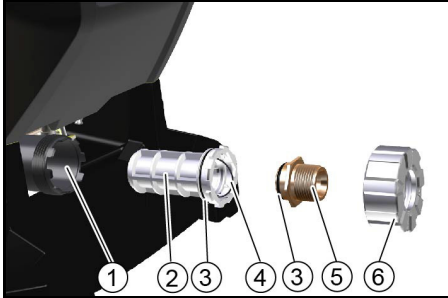
## メンテナンス間隔

### 各運転前に

- 電源ケーブルに損傷がないか確認します。損傷したケーブルは、すぐに正規カスタマーサービスまたは電気技師に交換してもらいます。
- 高圧ホースに損傷がないか点検してください。損傷した高圧ホースはすぐに交換してください。
- 機器に漏れがないか確認してください。1分間に3滴の水が許容範囲です。漏れがひどい場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

### 毎週

- オイルレベルを確認します。オイルが乳白色(オイルに水分が含まれている)になっている場合は、すぐにカスタマーサービスにご連絡ください。
- 給水用大型フィルターを清掃します。

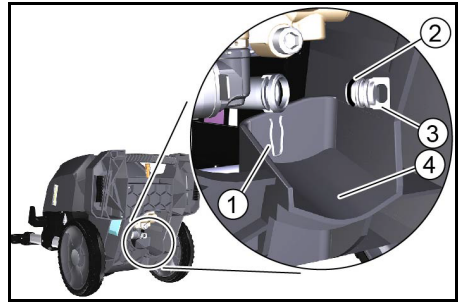


- ① フィルターハウジング
- ② ファインフィルター
- ③ Oリング
- ④ ハンドル、折りたたみ式
- ⑤ 接続パイプ
- ⑥ ユニオンナット

- a ユニオンナットのネジを外します。
- b 接続パイプを引き抜きます。
- c ファインフィルターを、折りたたみ式ハンドルでフィルターハウジングから引き出します。
- d ファインフィルターをきれいな水ですすぐか、圧縮空気で吹き飛ばします。
- e ファインフィルターのOリングを確認し、必要に応じて交換してください。
- f ファインフィルターをフィルターハウジングに挿入します。
- g 接続パイプのOリングを確認し、必要に応じて交換してください。
- h 接続パイプを取り付けます。
- i ユニオンナットをねじ込み、手でしっかり締め付けます。

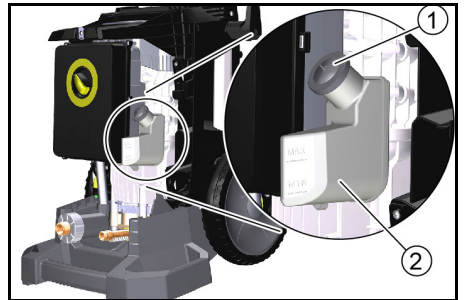
### 500運転時間ごと、少なくとも年1回

- 機器のメンテナンスは、カスタマーサービスに依頼してください。
- 高圧ポンプ内のオイルを交換します。
  - a 機器を後方に倒し、寝かせます。
  - b 排出シュートの下に廃油用の回収容器を置いてください。



- ① クランプ
- ② Oリング
- ③ プラグ
- ④ 排水路

- a クリップを下方に引き抜きます。
- d プラグを抜きます。
- e オイルを回収容器に排出します。
- f プラグのOリングを確認し、必要に応じて交換してください。
- g プラグを挿し込み、クリップで固定します。
- h 排水路に残ったオイルを拭き取ってください。
- i 機器を起こします。
- j カバー用固定ネジを外します。
- k カバーを取り外します。
- l オイルリザーバーのカバーを取り外します。



- ① カバー
- ② オイルリザーバー

- m 新しいオイルは、気泡が抜けるようにゆっくり注入してください。オイルの量と種類については「技術データ」を参照してください。
- n オイルリザーバーのカバーを元に戻します。
- o カバーを元に戻し、固定します。
- p 機器を5分間ほど運転してから、再度オイルレベルを確認してください。

メンテナンス  
 高圧ホースを交換する

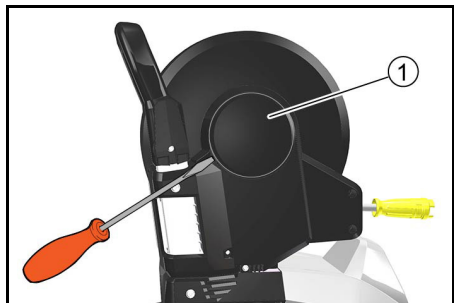
⚠ 警告  
 負傷の危険

回り止めが緩むと、ホースリールが予期せず高速回転する可能性があります。  
 以下の手順に注意深く従い、説明どおりにホースリールを固定します。

注意事項

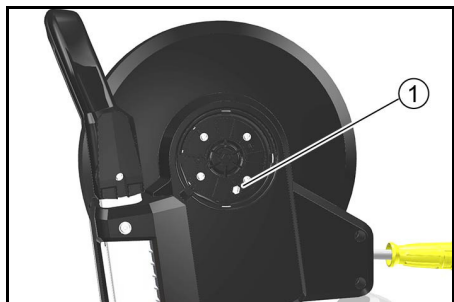
この機器には、「Ultra Guard」仕様の高圧ホースのみが適しています。

1. ホースリールのカバーをドライバーを使用して持ち上げて外します。

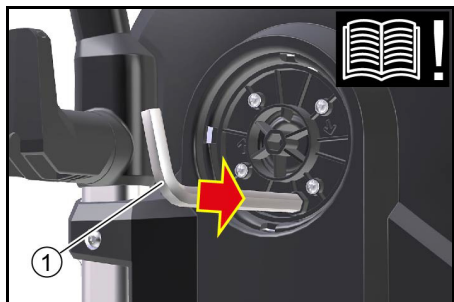


① カバー

2. 高圧ホースをホースリールから完全に引き出します。
3. 六角レンチ SW 10 をハウジングの六角形の開口部に挿入します。ホースリールがふさがり、キーを奥まで差し込んでください。

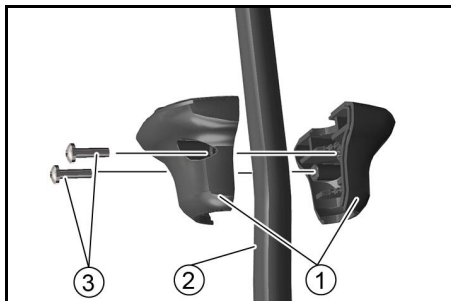


① 開口部、六角形



- ① 六角レンチ SW 10

4. 2本のネジを外します。

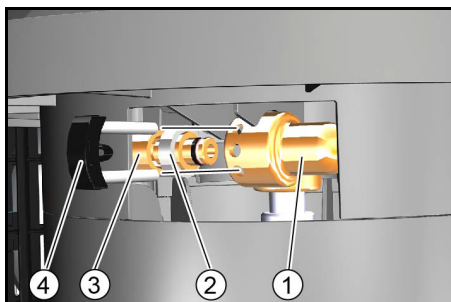


- ① ホースストッパー

- ② 高圧ホース

- ③ ネジ

5. 高圧ホースからホースストッパーを外します。
6. 安全フックを引き抜きます。



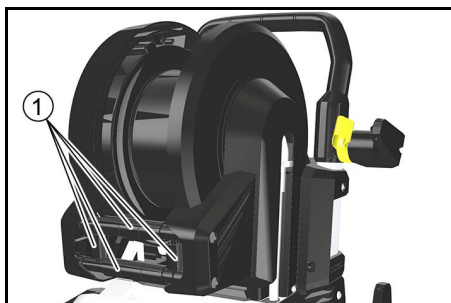
- ① ホース接続部

- ② ワッシャー

- ③ 高圧ホース

- ④ 安全フック

7. 高圧ホースをホース接続部から引き抜きます。
8. 新しい高圧ホースをホースガイドローラーに通して誘導し、ホース接続部に差し込みます。ホースリールの回転方向を守ってください。



- ① ホースガイドローラー

- 安全フックをホース接続部に差し込みます。
- すべてのワッシャーが安全フックの後ろにあることを確認してください。
- 高圧ホースのもう一方の端に、ホースストッパーを取り付けます。ホース先端までの距離(トリガーガンまで)約 1 m。
- 機器を水道と電源に接続し、作動させて、接続部に漏れがないか確認します。
- ホースを張り、張った状態を保ちます。ホースを張った状態のまま、六角レンチを引き抜きます。
- 高圧ホースを張ってホースリールのロックを解除し、高圧ホースをゆっくり巻き上げます。ホースを握って巻き上げ速度を確認します。
- カバーを元に戻します。

## 障害発生時のサポート

### ⚠ 危険

#### 機器の意図しない起動、充電部との接触

怪我のおそれ、電気ショック

機器で作業する前に、機器のスイッチをオフにしてください。

電源プラグを引き抜きます。

電気部品のすべての点検や作業は、資格のある担当者が行ってください。

この章に記載されていない障害が発生した場合は、正規カスタマー サービスにご連絡ください。

### 障害

#### 機器を起動できません。

- 表示灯が緑色に点滅する場合：
  - 機器のスイッチを「0」にセットします。
  - 機器のスイッチを「I」にセットします。
- モーターの温度が下がるのがを待ちます。
  - 機器のスイッチを「0」にセットします。
  - 機器を冷ましてください。
  - 機器のスイッチを「I」にセットします。
- 電源ケーブルに損傷がないか確認します。
- 主電源電圧を確認してください。
- 電気的な欠陥がある場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

#### 機器に圧力がかからない

- パワーノズルのサイズが合っていることを確認してください(「技術データ」の章を参照)。
- ノズルを清掃または交換します。
- 機器を換気します(「水接続口/機器を換気する」の章を参照)。
- 給水用大型フィルターを清掃し、必要に応じて交換します(「お手入れとメンテナンス/毎週」の章を参照)。
- 水注入量を確認します(必要量については「技術データ」の章を参照)。
- 必要に応じて、カスタマーサービスにお問い合わせください。

#### ポンプが漏れています。

1分間に3滴までの水漏れが許容範囲です。

- 漏れがひどい場合は、カスタマーサービスに機器の点検を依頼してください。

#### ポンプがノックする

- 水注入量を確認します(必要量については「技術データ」の章を参照)。
- 機器を換気します(「水接続口/機器を換気する」の章を参照)。
- ファインフィルターを清掃し、必要に応じて交換します(「お手入れとメンテナンス/毎週」の章を参照)。
- 必要に応じて、カスタマーサービスにお問い合わせください。

#### 洗浄剤の混ざり具合が少なすぎる

- 使用するフォームランスが機器の流量と一致しているか確認してください。
- フォームランスのカップに補充します。
- サクシオンホースに大きめのカバーを挿し込みます。
- サクシオンホースとフォームランスに洗浄剤が附着していないか確認してください。ぬるま湯で附着物を取り除きます。
- 必要に応じて、カスタマーサービスにお問い合わせください。

#### 泡の形成が少なすぎる

- 使用するフォームランスが機器の流量と一致しているか確認してください。
- サクシオンホースとフォームランスに洗浄剤が附着していないか確認してください。ぬるま湯で附着物を取り除きます。
- 必要に応じて、カスタマーサービスにお問い合わせください。

## 保証

国ごとに弊社の販売会社が発行する保証条件が有効です。保証期間中は、資材または製造上の欠陥が原因とみられる装置の故障に関しては無料で修理いたします。保証請求の際はレシートを販売店またはお近くの認可カスタマーサービスを提示してください。

(住所は裏面をご覧ください)

## 技術データ

		HD 9/17-4 S 50Hz	HD 9/17-4 S 60Hz	HD 10/22- 4 S 50Hz	HD 10/22- 4 S 60Hz	HD 10/22- 4 SXA 50Hz	HD 10/22- 4 SXA 60Hz
<b>国別</b>							
国		*JP	*JP	*JP	*JP	*JP	*JP
<b>電気特性</b>							
電圧	V	200	200	200	200	200	200
相	~	3	3	3	3	3	3
周波数	Hz	50	60	50	60	50	60
最大許容電源インピーダンス	$\Omega$	-	-	0.0452 + j0.0283	0.0452 + j0.0283	0.0452 + j0.0283	0.0452 + j0.0283
接続出力	kW	6,0	6,0	7,7	7,7	7,7	7,7
保護分類		IPX5	IPX5	IPX5	IPX5	IPX5	IPX5
主電源ヒューズ保護(スローブロー, Char. C)	A	20	20	30	30	30	30
<b>水接続</b>							
入口圧力 (最大)	MPa	1	1	1	1	1	1
入口温度 (最大)	$^{\circ}$ C	60	60	60	60	60	60
給水量 (最小)	l/h	1100	1100	1100	1100	1100	1100
吸引高さ (最大)	m	0,5	0,5	0,5	0,5	0,5	0,5
給水ホースの最小長	m	7,5	7,5	7,5	7,5	7,5	7,5
給水ホースの最小径	in	1	1	1	1	1	1
吸引フィルター 注文番号		4.730- 012.0	4.730- 012.0	4.730- 012.0	4.730- 012.0	4.730- 012.0	4.730- 012.0
<b>装置のデータ</b>							
標準ノズルのノズルサイズ		050	050	045	045	045	045
標準ノズルでの常用吐出圧力	MPa	17	17	22	22	22	22
最大許容圧力	MPa	22	22	25	25	25	25
吐出水量	l/min	15	15	15	15	15	15
高圧ガンの反動力	N	46	46	52	52	52	52
<b>度量衡</b>							
使用時重量	kg	64,5	64,5	68,5	68,5	80	80
長さ	mm	607	607	607	607	607	607
幅	mm	518	518	518	518	518	518
高さ	mm	1063	1063	1063	1063	1063	1063
オイル量	l	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0
オイルタイプ	型式	SAE 90	SAE 90	SAE 90	SAE 90	SAE 90	SAE 90
<b>EN 60335-2-79 に基づいて求めた値</b>							
手および腕における振動値	$m/s^2$	3,8	3,8	4,1	5,4	3,8	3,8
不確実性 K	$m/s^2$	0,9	0,9	0,9	1,0	0,9	0,9
音圧レベル $L_{DA}$	dB(A)	71	73	72	73	74	74
不確実性 $K_{DA}$	dB(A)	3	3	3	3	3	3
測定された音響パワーレベル $L_{WA}$	dB(A)	91	91	91	91	91	91
保証された音響パワーレベル $L_{WA,d}$	dB(A)	93	93	93	93	93	93

技術的な変更が行われることがあります。





# THANK YOU!

## MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

### ■ ユーザー登録で1年保証を2年に延長できます。

品質に自信があるからこそこの長期保証。  
お客様に安心してお使いいただくためのアフターサービスを提供しています。  
ユーザー登録をしていただくことで、製品の保証期間を2年に延長いたします。

※ご購入後30日以内に、当社ホームページからユーザー登録が必要です。  
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせていただきます。  
※アクセサリ、パーツ、洗浄剤を除きます。

下記URLまたはQRコードで、当社ホームページからお申し込みいただけます。  
[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/registry.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html)



Webからのユーザー登録はこちら



### ■ 製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

**TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411**

受付時間 : 9:00~17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

※修理のお申し込みは、下記 URL または QR コードで当社ホームページからもお申し込みいただけます。

[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/repair\\_menu.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html)

Webからの修理申し込みはこちら

